



高齢者施設の種類と特徴 ～その1～

高齢者施設には、①特別養護老人ホーム ②介護老人保健施設 ③有料老人ホーム ④サービス付高齢者住宅 ⑤グループホーム ⑥小規模多機能型居宅介護など・・・いろいろな種類があります。目的や費用もさまざま。その人にあった施設を探しましょう。



一度にお伝えできない為、シリーズでお伝えします。まずは、①特別養護老人ホーム ②介護老人保健施設 です。

施設の種類	①特別養護老人ホーム（特養）	②介護老人保健施設（老健）
内容	<p>自宅で介護が困難な寝たきりや認知症の人に対し、日常生活上の世話を行う施設。健康管理・レクリエーション・機能訓練などが提供される。</p> 	<p>病状が安定しているが退院してすぐに自宅へ戻る事が不安な場合に、リハビリを兼ねて利用する施設。理学療法士や作業療法士らによるリハビリを受けられる。</p> 
利用できる人	要介護 3 以上の人	要介護 1～5 の人
費用	<p>要介護度と所得段階に応じて定められている。(7万円～/月) 施設サービス費の1割負担・食費・居住費など。</p>	<p>要介護度と所得段階に応じて定められている。(7万円～/月) 施設サービス費の1割負担・食費・居住費など。</p>
その他	<p>入居の申し込みは居住市区町村。一般的に30人から100人などと待機人数が多い。入居は申込順ではなく、優先順位で決められる。</p>	<p>目的はあくまでも在宅復帰。病院と自宅の中間的な役割。終の棲家ではない。入所期間は3ヶ月～年単位。</p>



※利用できる人は、要介護状態・内服状況によっても異なります。費用には別途自費分がかかる場合もあります。
※詳細は、各施設への直接お問い合わせ又は、メイトウホスピタル 医療相談室へお尋ねください。

次号は8月中旬を予定しております。